

施策名：地球温暖化対策の推進

事業名	担当課・室名	ページ
地球温暖化対策推進事業	地球環境対策課	2 / 4
防災拠点再生可能エネルギー導入事業	地球環境対策課	3 / 4
(公)造林事業・再造林促進事業	森林整備室	4 / 4

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	地球温暖化対策推進事業		事業期間	平成 21 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	地球環境対策課	施策区分	地球温暖化対策の推進
					評価者	うつくし作戦推進課長 梶原 浩

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	大分県内のCO <sub>2</sub> 排出実績(2013年速報値)は、大分県地球温暖化対策地域推進計画に定める目標値と比べ、家庭・業務・運輸部門で大きな乖離がある。地球温暖化防止のためには、県民、事業者及び行政が連携してCO <sub>2</sub> などの温室効果ガスの排出抑制対策を推進していくことが課題となっている。	事業の目的	家庭部門、業務部門、運輸部門におけるCO <sub>2</sub> 排出量を削減するため、節電・省エネに関する啓発を実施するとともに、CO <sub>2</sub> 排出抑制対策を推進する。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①家庭向け省エネ診断の実施 専門ソフトを用いて各家庭のエネルギー使用量や光熱費、CO <sub>2</sub> 排出量を算出し、改善策を提案 パソコンやスマホ等のWeb上で簡易診断ができる大分版Web家庭のエコ診断開始 ②事業所向け省エネ診断の実施 事務所や工場を直接訪問し、エネルギーの使用状況や設備の運用方法を確認し、改善策を提案 ③エコドライブセミナーの実施 県内6地区でエコドライブに関する体験型セミナーを実施		・エコドライブセミナーの実施をNPO法人大分県地球温暖化対策協会に委託	総コスト	39,413	49,000	48,275	
			事業費	19,413	29,000	28,275	
			(うち一般財源)	1,660	2,217	1,057	
			人件費	20,000	20,000	20,000	
			職員数(人)	2.00	2.00	2.00	

  

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	家庭向け省エネ診断受診件数 【累計】(件)	目標値	700	800	1,300			
	実績値	780	1,085					
	達成率	111.4%	135.6%					
事業所向け省エネ診断受診件数 【累計】(件)	目標値	240	260	700				
	実績値	553	634					
	達成率	230.4%	243.8%					

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	1世帯当たりの年間電力消費量(kWh)	目標値	5,212	5,056	4,904			
	実績値	5,536						
	達成率	94.1%						

## [4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

・家庭、業務、運輸各部門毎のCO<sub>2</sub>排出対策を推進するとともに、気候変動の影響を軽減するための取組を推進

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	防災拠点再生可能エネルギー導入事業		事業期間	平成25年度～平成28年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～		
						施策区分	地球温暖化対策の推進		
総合評価	<b>A</b>		継続・見直し		事業実施課(室)名	地球環境対策課		評価者	うつくし作戦推進課長 梶原 浩

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	大分県内のCO <sub>2</sub> 排出実績(2013年速報値)は、大分県地球温暖化対策地域推進計画に定める目標値と比べ、家庭・業務・運輸部門で大きな乖離がある。地球温暖化防止のためには、県民、事業者及び行政が連携してCO <sub>2</sub> などの温室効果ガスの排出抑制対策を推進していくことが課題となっている。	事業の目的	再生可能エネルギーの導入により、災害時等の非常時における防災対策を強化することと併せて、通常時においては、省エネによる二酸化炭素排出量の抑制を推進する。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
①市町村の再生可能エネルギー導入補助 太陽光発電システム、蓄電池の導入を補助 (中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、豊後高田市、杵築市、豊後大野市、国東市、姫島村)		・補助事業の進行管理を円滑に実施するため実施設計完成後、中間検査を実施		総コスト	119,235	262,634	281,177	
				事業費	109,235	247,634	271,177	
				(うち一般財源)	9,552			
				(うち繰越額)	98,600	19,205	155,411	
				人件費	10,000	15,000	10,000	
				職員数(人)	1.00	1.50	1.00	
活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(28年度)	評価	今後の課題
	再生可能エネルギーの導入箇所数 (28年度は累計)	目標値	1	15	27	27	a	・導入機器の有効活用等のソフト対策を強化
		実績値	1	16				
		達成率	100.0%	106.7%				
		目標値						
実績値								
	達成率							

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(28年度)	評価	事業の成果
再生可能エネルギーを導入した市町村数(28年度は累計)	目標値	1	7	14	14	a	再生可能エネルギーの導入によりCO <sub>2</sub> の排出抑制と併せて、商用電源遮断時の災害対応が可能となった。	
	実績値	1	7					
	達成率	100.0%	100.0%					

## [4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針				
・平成28年度末の事業終了期間に向けて、国から配分を受けた再生可能エネルギー等導入推進基金を有効に活用し事業を実施				

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

別紙2-9

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	(公) 造林事業・再造林促進事業	事業期間	昭和 21 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～
		事業実施課(室)名	森林整備室	施策区分	地球温暖化対策の推進
		評価者	森林整備室長 樋口 昭		

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	長期にわたる木材価格の低迷等により、伐採、植栽、保育など、これまでの木材生産システムが円滑に行われず、管理されない森林や、伐採後植林されずに放置される森林が増加しており、森林の持つ公益的機能の低下が懸念されている。	事業の目的	森林の持つ公益的機能の向上（水源かん養機能や土砂流出防止機能、二酸化炭素の吸収等）のため、再造林、鳥獣害防止施設整備、下刈り及び間伐等の森林整備を推進し「水をはぐくみ、災害を防ぐ森林づくり」を進める。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①森林環境保全整備事業 再造林、鳥獣害防止施設整備、下刈り、枝打ち等の森林整備 再造林、下刈り、枝打ち等 7,500ha 鳥獣害防止施設整備 258km 森林作業道開設 78km	・森林経営計画の作成 ・施業の集約化	総コスト	2,377,980	2,148,563	3,020,423
		事業費	2,362,980	2,133,563	3,005,423
		(うち一般財源)	290,797	293,884	577,739
		人件費	15,000	15,000	15,000
		職員数(人)	1.50	1.50	1.50

## [3. 事業の成果]

再造林や間伐等の森林整備により、適正な森林管理が図られ、水源かん養や災害の発生防止、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止などの公益的機能の発揮につながった。  
なお、平成27年度は再造林促進事業により484haの再造林を実施するとともに、公共造林や非公共造林事業等により5,944ha(8月中旬確定)の間伐を実施した。

## [実施面積]

	平成27年度の実施面積	平成27年度からの実施累計面積	備考
再造林面積 (うち再造林促進事業による面積)	696 (484)	696 (484)	